

令和6年度廃棄物施策の実施状況について

(1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

① 広報誌「広報ひろさき」・「ひろさきだより」【継続】

掲載時期	掲載内容
毎月1日号	たか丸くんのごみ減量速報
毎月1日号 (8/1～)	ゼロカーボンひろさきチャレンジ！
4/1	ごみの出し方の変更について（危険ごみの収集開始、ダンボールの出し方の一部変更）
5/1	ごみ集積ボックス設置事業費補助金の紹介
6/1	不法投棄・野焼き防止の啓発
6/15	「ミニ・キエーロ」モニター募集
7/1	「ひろさきタベスケ」協力店募集
8/1	「ひろさきタベスケ」開始のお知らせ
9/1	スポ GOMI ワールドカップ 2025 青森 STAGE
11/1	「ひろさきタベスケ」公式インスタグラム始めました
12/1	年末年始のごみ収集
2/1	弘前市温暖化防止率先行動計画（地域公共団体実行計画・区域施策編）（案）のパブリックコメント募集
3/1	有害ごみの分別収集について 引越しごみについて

※農業ひろさき：7/1号「農業ごみの適正排出」

10/1号「不法投棄・野焼き防止の啓発」

② ごみに特化した啓発広報誌「なごみ生活」【継続】

配布時期	掲載内容
11月号	ひろさきタベスケほか
2月号	有害ごみほか

※広報ひろさきと同時配布



③ ラジオ広報 FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」【継続】
(毎月第1木曜 11:30～11:40 頃放送 (10 分程度))

放送日	放送内容
4/4	弘前市ごみ収集アプリについて
5/2	ごみ集積ボックス設置事業費補助金について
6/6	衣類回収ボックスについて
7/4	事業系ごみについて
8/1	ピリカキャンペーンについて
9/5	スポ GOMI ワールドカップ 2025 青森 STAGE
10/3	野焼きの禁止について
11/7	古紙回収ステーションについて
12/5	年末年始のごみの出し方について
1/2	冬期間のごみの出し方とお知らせ
2/6	家電の捨て方について
3/6	令和7年度からのごみ出しの変更点について

④ ごみ分別収集アプリ【継続】

50 音別分別ガイドや、収集日カレンダー、資源物拠点回収マップの機能を搭載した、スマートフォン用アプリを導入し、無料で配信しています。

年度	R3	R4	R5	R6
ダウンロード数	3,004	3,565	3,461	3,910



基本計画の関連項目

普及啓発施策一ア. 広報誌やインターネット等による情報発信 (P. 33)

⑤ 出前講座【継続】

講座名	実施回数	人数
1. ホントは知らないごみのお話 ～減量化って？資源化って？～	9	185
2. 地域 みんなではじめよう再生資源回収運動	3	41
合計	12	226



基本計画の関連項目

普及啓発施策一ウ. ワークショップ型勉強会などによる周知啓発(P. 34)

- ⑥ スポGOMI大会の開催【継続※】 ※R2～R4 まで実施、R5 未実施
スポーツとごみ拾いを掛け合わせた競技であるスポGOMI大会を開催することで、ポイ捨てなどごみ問題を考えるきっかけづくりとし、若年層や普段環境問題に関心のない層の環境意識向上を図りました。

令和6年度は、一般社団法人海と日本プロジェクト in 青森県（青森テレビ内）と共催し、令和7年秋に開催されるワールドカップの県代表を決める予選大会として開催しました。

年度	R2	R3	R4	R6
参加チーム	16	24	22	34
参加人数	63	99	85	102
回収量 (kg)	14. 14	26. 61	27. 49	54. 96



⑦ 拾い箱プロジェクト【新規】

市内小学校において、海洋ごみや市のごみの現状に関する出前講座を実施し、地域の清掃活動で拾ったごみを入れる「拾い箱」を子どもたちにデザインしてもらうことで、ごみやリサイクルに対する知識・意欲を育み環境教育の促進を図りました。

完成した拾い箱は、ねぷたまつりのエコステーション内で使用し、その後、地域の拾い箱として各小学校へ寄贈しました。

参加人数：小学5年生 159人

(時敏小 64人、第三大成小 52人、城東小 43人)



⑧ イベント会場でのエコステーション設置【継続】

イベント会場に分別を補助する人を配置したエコステーションを設けることで、イベント時に発生するごみの適正処理を促しました。



(2) キエー口普及啓発

① ミニ・キエー口【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化に向けて、生ごみ消滅型処理ボックス「ミニ・キエー口」の普及啓発を行いました。

内容	配布数（累計）
モニター事業	689
その他（出前講座他にて配布）	325
合計	1,014

② メガ・キエー口【継続】

事業所単位でのキエー口利用促進に向け、大型の「メガ・キエー口」を製作し、給食提供のある保育園や飲食店などに配布しました。

配布先	保育園	飲食店	菓子製造	学校	児童発達支援施設	その他
配布数（累計）	5	8	2	2	2	3
合計						22



基本計画の関連項目

普及啓発施策一オ. 消滅型生ごみ処理ボックス「ミニ・キエー口」の普及推進(P. 34)

(3) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機の貸与を実施しています。

年度	R3	R4	R5	R6
貸与台数	4	3	6	1

基本計画の関連項目

普及啓発施策一カ. 家庭用電動生ごみ処理機の普及推進(P. 34)

(4) 食品ロス削減啓発キャンペーン

① てまえどり【継続】

賞味・消費期限切れで購入されずに廃棄されてしまう食品の発生抑制を目指し、市内スーパー等の協力を得て、「てまえどり」などの啓発ポスターやポップを店内に掲示してもらうキャンペーンを実施し、食品ロス削減の啓発を図りました。

実施時期	R3. 12～R4. 1	R4. 8	R5. 9～R5. 10	R6. 8～R6. 9
協力店舗	29	28	24	26

② 3010運動【継続】

宴会時の食べ残しによる食品ロスの削減を目的として、忘・新年会シーズンの間、飲食店に「食べきり」を啓発するポスターやポップを掲示してもらいました。

実施時期	R3. 12～R4. 1	R4. 12～R5. 1	R5. 12～R6. 1	R6. 12～R7. 1
協力店舗	35	38	35	33

基本計画の関連項目

普及啓発施策一キ. 食品ロスの発生抑制・再資源化の推進(P. 34)

(5) 古紙類回収ステーション【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市内4カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

令和元年度下半期から回収ステーションごとオフィス町内会へ加入することで、新たにダンボールを回収品目に加えたほか、令和2年度にはステーションの改装を行うなど、利便性の向上を図っています。

●回収ステーション設置場所（4か所）

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター

回収量 (kg)	R3	R4	R5	R6
新聞紙	16,131	15,092	14,028	13,342
雑誌・雑がみ	45,654	45,890	53,205	45,935
ダンボール	8,785	8,095	9,546	8,926
合計	70,570	69,077	76,779	68,203



 (6) 新聞、雑誌・雑がみ、ダンボール、紙パックの行政回収【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

品目	R3		R4		R5		R6	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	417,070	3,556,013	433,730	3,917,422	398,340	3,780,645	358,050	3,621,402
雑誌・ 雑がみ	799,710	2,299,805	797,040	2,748,904	748,770	2,897,330	701,960	3,259,629
ダン ボ ール							595,020	6,013,128
紙パ ッ ク							1,998	79,671
合計	1,216,780	5,855,818	1,230,770	6,666,326	1,147,110	6,677,975	1,679,175	12,973,830

※令和 6 年度からダンボール、紙パックの売払いを実施

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ク 古紙類回収の推進(P. 35)

(7) 使用済小型家電リサイクル【継続】

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成 24 年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成 28 年 3 月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初

※中国のプラスチック輸入規制の影響で令和 2 年度から小型家電の回収は逆有償化

●回収ボックス設置場所（16 か所）

- | | | |
|-----------------------------------|-------------|-------|
| ①市役所本庁舎 | ②岩木庁舎 | ③相馬庁舎 |
| ④総合学習センター | ⑤ヒロロスクエア | |
| ⑥弘前地区環境整備センター | ⑦ケーズデンキ弘前本店 | |
| ⑧～⑩ユニバース堅田店・南大町店・松原店 | | |
| ⑪～⑬市内各出張所窓口回収（石川・裾野・高杉・新和・東目屋・船沢） | | |
| ※⑪～⑬は窓口回収 | | |

回収量（kg）	R3	R4	R5	R6
ボックス回収	3, 736	3, 671	3, 683	4, 048
ピックアップ回収	10, 117	10, 619	8, 891	8, 790
宅配便回収	2, 050	2, 367	2, 134	2, 057
合計	15, 903	16, 657	14, 708	14, 895



(8) 衣類回収【継続】

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しているほか、再生資源回収運動の回収品目にも追加しています。

●回収ボックス設置場所（16 か所）

- | | | |
|----------------------------------|-----------------|-----------|
| ①市役所本庁舎 | ②岩木庁舎 | ③相馬庁舎 |
| ④総合学習センター | ⑤ヒロロスクエア | ⑥清水交流センター |
| ⑦千年交流センター | ⑧北辰学区高杉ふれあいセンター | |
| ⑨イオンタウン樋の口 | ⑩ユニバース松原店 | ⑪いとく浜の町店 |
| ⑫～⑯市内 5 出張所窓口回収（石川・裾野・新和・東目屋・船沢） | | |

年度	R3	R4	R5	R6
回収量（kg）	156, 743	154, 152	135, 440	132, 240



基本計画の関連項目

普及啓発施策一サ. 衣類回収の推進 (P. 35)

 (9) 再生資源回収運動【継続】

町会・子ども会・PTAなどの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る資源物を回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量 1kg あたり 4 円の報償金を交付しています。

回収実績 (kg)	R3	R4	R5	R6
古紙類計	994, 544	1, 009, 971	903, 631	827, 411
新聞紙	402, 698	406, 461	362, 532	326, 192
雑誌類	232, 792	232, 956	194, 112	183, 227
ダンボール	343, 677	355, 615	334, 181	304, 640
紙パック	15, 377	14, 939	12, 806	13, 352
アルミ缶	44, 773	42, 860	39, 934	38, 483
衣類・布類	6, 061	5, 379	4, 019	3, 351
ビールケース	250	294	268	242
ペットボトル	26, 421	27, 730	28, 345	29, 006
びん	15, 495	16, 201	12, 746	14, 807
合計	1, 087, 544	1, 102, 435	988, 943	913, 300

基本計画の関連項目

経済的動機付けによる施策一斉. 再生資源回収運動の推進 (P. 37)

(10) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入1基に対し、2,000円の補助金を交付しています。

年度	R3	R4	R5	R6
補助基数	9	20	7	5
補助額（円）	18,000	40,000	14,000	10,000

基本計画の関連項目

経済的動機付けによる施策一ツ. 生ごみ堆肥化容器の購入補助(P. 37)

(11) ごみ減量化・資源化の推進に関する協定締結【継続】

ごみ減量化・資源化を進める上でキーポイントとなる、市民・事業者・行政の協働を強化するため、各市民団体や事業者団体と協定を締結し、それぞれの団体の特色に合わせたごみ減量化・資源化施策を展開しています。

年度	R3	R4	R5	R6
協定締結団体 （累計）	20	22	23	23

※R2. 12. 3(株)ジモティーとのリユース活動促進に向けた協定、

R4. 7. 11 豊島(株)及びオンワード商事(株)とのアップサイクル推進に向けた協定、

R6. 2. 2(株)青南商事とのプラスチックに係る資源循環の促進に関する協定締結を含む。



基本計画の関連項目

市民や事業者の協力による施策一二. 各市民団体・事業者団体等との協定締結(P. 38)

(12) 廃棄物減量等推進員【継続】

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

年度	R3	R4	R5	R6
設置町会数	275	279	227	279
配置人数	619	634	635	625

基本計画の関連項目

市民や事業者の協力による施策一ヌ. 廃棄物減量等推進員の活用 (P. 38)

(13) ごみ出しサポート事業【継続】

高齢者や障がい者など介護が必要な世帯で、ごみ集積所までのごみ出しが困難となっている世帯を対象に、通常の収集とは別に、市の職員が週1回、自宅前まで収集に伺うごみ出しサポート事業を令和2年度から開始し、ごみ出しに係る負担の軽減を図っています。

年度	R3	R4	R5	R6
サポート世帯 (利用者数)	131	159	200	198



基本計画の関連項目

その他一ミ. ごみ出しサポート事業 (P. 40)

(14) 水銀添加廃製品の回収【継続】

平成30年1月から水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進を目的に、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を回収しています。

回収窓口	本庁舎（環境課）、 市民課駅前分室（ヒロロ3F）、 市民課城東分室、 岩木総合支所民生課、 相馬総合支所民生課、 東目屋出張所、船沢出張所、 高杉出張所、裾野出張所、 新和出張所、石川出張所
------	--



基本計画の関連項目

その他一メ. 処理困難物への対応 (P. 40)

(15) 事業系ごみ適正排出指導【継続】

事業系ごみの適正排出を促進するため、平成27年度より、職員による事業所訪問を実施し、ごみの分別・排出状況を確認し助言・指導を行っています。また、市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を調査し、排出元を特定・指導を行っています。

年度	R3	R4	R5	R6
指導件数	38	50	62	79

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ケ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進 (P. 35)

(16) オフィス町内会の推進【継続】

平成 22 年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。平成 30 年度末からは、各団体との協定の中で、オフィス町内会への積極的な加入を呼びかけています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、 田舎館村、西目屋村

●会員数及び回収実績（弘前市分）

年度	R3	R4	R5	R6
会員数（累計）	412	417	424	426
回収量（kg）	595, 037	528, 027	549, 908	519, 121

●県内 4 地区回収実績推移（kg）

年度	R3	R4	R5	R6
青森地区	237, 624	236, 263	230, 003	206, 871
弘前地区	772, 811	721, 600	671, 993	665, 366
西北五地区	63, 838	77, 530	65, 658	71, 937
十和田地区	221, 941	231, 484	212, 216	239, 231

基本計画の関連項目

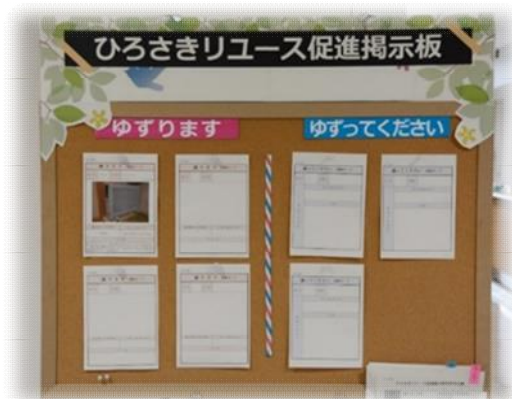
市民や事業者の協力による施策一ネ. オフィス町内会の推進(P. 38)

(17) ひろさきリユース促進掲示板【継続】

家庭で不用になった生活用品の情報を登録し、必要とする方に紹介することで、ごみを減らし、資源物の有効活用を図っています。

品物を譲りたい人（譲ります）、譲ってほしい人（譲ってください）の双方が利用できます。

年度	R3	R4	R5	R6
譲ります	14	7	2	4
譲ってください	11	3	5	0
成立	9	7	3	1



(18) メルカリエコボックス【新規】

リユース意識の定着を図り、「捨てる」から「長く使う」、「人に譲る」など持続可能な行動の定着を促すため、家の中に眠っている「もう使わなくなったけれど捨てるにはもったいないもの」を一時的に保管しておくための箱「メルカリエコボックス」の無償配布を行いました。

※株式会社メルカリおよび日本財団との連携・共同事業

配布方法	配布数
おさがり会 2023	400
窓口配布	206
座談会ほか	365
合計	971



(19) フードシェアリングサービスを活用した食品ロス削減マッチング事業 「ひろさきタベスケ」【新規】

ごみ減量化を図るため、web上のフードシェアリングサービスを導入し、食品をお得に購入したい市民と食品ロスになりうる食品を出品したい協力店舗をマッチングさせることで、食品ロスの削減による事業系一般廃棄物の減量化を図るもの。

- ・運用開始 令和6年8月1日
 - ・ユーザー登録者数 2,231人
 - ・協力店舗数 18店舗
 - ・取引成立数 417品
 - ・食品ロス削減量 約240kg
- ※令和7年3月31日現在



(20) プラスチック資源一括回収実証事業【新規】

津軽地域8市町村では令和8年度からのごみ処理広域化に合わせ、「プラスチック資源」の区分を設け、プラスチック製容器包装及び使用済みプラスチック製品のリサイクルを実施予定です。

リサイクルに必要となる再商品化計画を策定するため、一部の町会においてプラスチック資源の回収を試験的に実施し、組成分析調査とともにアンケート調査を実施しました。

- ・実施時期 令和6年6月15日 住民説明会開催
7月4～25日の木曜日 分別収集実施
9月1～13日 住民対象アンケート実施
- ・協力いただいた町会 上松原町会
- ・プラスチックの組成割合

容器包装プラスチック	80.11%
同 (汚れあり)	0.72%
製品プラスチック	17.55%
異物	1.62%
- ・アンケート回収数 322件/1,410世帯 (22.84%)

【主な回答結果】

- ・試験回収でプラスチック資源を出した割合 59.6%
- ・分別はわかりやすかったと回答した割合 75.5%